

第14回せいい看護学会学術集会にあたって



せいい看護学会理事長大石ふみ子

せいい看護学会会員のみなさま、学術集会ご参加のみなさま、ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

2010年に設立されたせいい看護学会は、2011年3月の第1回から数えて今回は第14回の学術集会となります。せいい看護学会は、聖隷クリストファー大学に限らず、聖隷福祉事業団グループや静岡県西部の病院をはじめとした多くの組織とそこに所属する皆様によって発展して参りました。とりわけ学術集会については、大学ではない病院や医療機関が代表として開催してきたことは、誇るべき実績です。

毎年9月に開催されるせいい看護学会学術集会においては、開催の中心をになうその都度の組織から、個性的なシンポジウムやセミナーが企画・提供されております。さらに学術集会のコアである一般演題には、大学からだけではなく臨床・臨地より貴重な研究成果や実践の報告が発表されております。学会に参加してくださる皆様は、きっと力強く素晴らしい企画や発表に触れて、他施設・異業種の皆様と交流して、大いに刺激を受けてくださることと思います。ぜひ、皆様のエネルギーや思いをそこに加え、ともに充実した時間につなげてください。そして・・・この学術集会の出会いや刺激を活かし、次につなげていただきたいと考えております。

せいい看護学会の中心は、学術集会の開催と学会誌の発行です。今回発表して下さった皆様、ぜひそれを論文にまとめ、学会誌に投稿して下さいますか。そして今日、発表された企画や一般演題に触れて刺激を受けた皆様、ぜひ来年は皆様の取り組みを発表してください。私たち、学会の理事会や事務局は、学会発表、論文発表を行いたい、という皆様をどのようにサポートできるかを真剣に考え、そのことに取り組みたいと考えております。今回、第14回学術集会を大事な機会とし、せいい看護学会が学会員の皆様がそれぞれのテーマや取り組みについて共有し、まとめ上げ、発表する場となるべく、あらためて努めていきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。